

しこぶちフォーラム

Shikobuchi Forum

日時 | 平成 26 年 3 月 16 日 (日) 13 時 30 分 ~ 17 時 (13 時 受付開始)

場所 | 朽木 やまびこ館 大ホール (滋賀県高島市朽木市場 792)

参加無料

〈定員〉 250 名 (受付順) 〈参加方法〉 事前申し込みは不要です。直接会場にお越し下さい

安曇川
リバーマップ
さしあげます!

このフォーラムの登壇者



嘉田 由紀子氏
滋賀県知事



石田 敏氏
高島市
文化財保護審議会委員



牧 大介氏
町 西粟倉・森の学校
代表取締役



嶋田 奈穂子氏
京都大学
東南アジア研究所
連携研究員



河原林 洋氏
保良川遊船企業組合
船主

安曇川の筏流しと「しこぶち信仰」の歴史をふりかえり
高島市の山村文化と地域林業を未来へ引き継ぐために。

いにしへの時代から、都の造営や戦乱後の復興には大量の木材が必要とされ、その需要を支える朽木の林業は大きな役割を果たしてきた。材木の輸送手段として、筏流しが発達した安曇川では、川の魔物を取り除く神である「シコブチ神」に守られて筏師が活躍し、林業は地域の一大産業であった。戦後は輸送手段の変化とともに筏流しが消滅し、さらに外国産木材の輸入増大とともに、地域の林業は基幹産業の座を追われることになり、今日では「シコブチ神」と林業とのかかわりも忘れ去られつつある。

当フォーラムでは、安曇川流域に点在する「シコブチ神」と地域社会とのつながりを再認識し、改めてその歴史を振り返り、多様な自然環境や山村文化を未来へ引き継ぐために、私たちは今何をすべきかを考える。

主催：安曇川流域文化遺産活用推進協議会 (高島市教育委員会・一般社団法人 安曇川流域 森と家づくりの会・結びめ・中野自治会)
お問合せ先：090-5014-1600 (結びめ・文化庁事業担当)



文化遺産を活かした地域活性化事業 (文化庁)



登壇者の紹介



嘉田 由紀子氏 Kada Yukiko
滋賀県知事

1981年滋賀県庁に入庁し、琵琶湖研究所研究員、琵琶湖博物館総括学芸員を経て、2000年京都精華大学人文学部教授および琵琶湖博物館研究顧問となる。過去30年以上にわたり県内各地を歩き、人びとの暮らしと琵琶湖とのつながりを学ぶ。2006年7月滋賀県知事就任。2010年7月再選。琵琶湖の保全・再生、次世代育成型社会の実現や地域の魅力の再発見などに取り組む。



牧 大介氏 Maki Daisuke
株式会社西栗倉・森の学校 代表取締役

京都大学大学院で森林生態学を専攻。民間シンクタンクを経て、2005年に農林水産事業の専門家集団「アマタ持続可能経済研究所」を設立、所長に就任。全国各地の農山漁村で新規事業の企画・プロデュースを手がける。2009年に株式会社トビムシを設立し取締役に就任するとともに、岡山県西栗倉村との共同出資で株式会社西栗倉・森の学校を設立し、代表取締役に就任。「ニシアワー」という地域ブランドを立ち上げ、木製品や農産品などをエンドユーザーに直販している。



河原林 洋氏 Kawarabayashi Hiroshi
保津川遊船企業組合 船士

筏のかかわり。
400年の歴史をもつ保津川下りの船士として、1200年の歴史をもつ保津川（桂川）の筏流しに興味をもち、2007年より研究を始める。亀岡市保津や京都市京北をはじめ、保津川流域に住む元筏士から直接筏組みの指導をうける。毎年9月に保津川において市民対象の筏試乗会をおこない、筏流しの普及に努めながら、保津川と戯れる日々を過ごしている。



石田 敏氏 Ishida Satoshi
高島市文化財保護審議会委員

公立中学校で教鞭をとる傍ら、中世城郭研究および郷土史研究を続ける。1983年から滋賀県中世城郭分布調査員、1992年から朽木村文化財専門委員。合併前の旧朽木村で始められた『朽木村史』編さん事業に関わり、2005年からは編集委員長に就く。中学校長の職を辞した後は、編さん室長を務め、同時に中世史・城郭・遺跡・しこぶち信仰・街道・木地師等に関わる分野の執筆を担当した。主な著作に『朽木村の城館探訪』、『安曇川と筏流し』等がある。



嶋田 奈穂子氏 Shimada Nahoko
京都大学 東南アジア研究所 連携研究員

1982年 奈良生まれ
専門は建築学。研究テーマは聖地立地。アジアに広く分布する鎮守の森が、どのような場所にあり、どのように信仰され、どのような意味をもっているのかについて研究している。

プログラム

【第一部】 [13:30~14:45]

安曇川リバーマップを読む

「安曇川流域の筏流しと林業遺構」

石田 敏氏（高島市文化財保護審議会委員）

「安曇川流域のしこぶち信仰」

嶋田 奈穂子氏（京都大学 東南アジア研究所 連携研究員）

【第二部】 [14:45~15:20]

記録映画上映

朽木村針畑の生活記録8「ワキノタン」第2篇

京都精華大学 丸谷研究室（針畑生活資料研究会）

【第三部】 [15:30~17:00]

パネルディスカッション

「安曇川の多様性を未来へ引き継ぐために」

パネリスト：

嘉田 由紀子氏（滋賀県知事）

牧 大介氏（株式会社西栗倉・森の学校 代表取締役）

河原林 洋氏（保津川遊船企業組合 船士）

石田 敏氏（高島市文化財保護審議会委員）

嶋田 奈穂子氏（京都大学 東南アジア研究所 連携研究員）

モデレーター：

清水 安治氏（高島市 政策部長）

やまびこホールロビーにてパネル展示を行っています

「朽木の木でつくる家～地域林業の価値を未来へつなぐ～」

「安曇川流域のシコブチ神社～14のシコブチ神社～」

会場案内地図

